

社会保険労務士法制定

50周年記念式典・新年賀詞交歓会開かれる

平成31年1月11日(金)、京成ホテルミラマーレにおいて、たくさんの来賓をお迎えして社会保険労務士法制定50周年記念式典・新年賀詞交歓会が行われました。

第一部の記念講演会では、東京大学史料編纂所教授の本郷和人氏に「明治維新を考えるー才能と世襲ー」と題してお話をいただきました。日本人の穏やかな気質は、仏教、儒教の思想とともに「世襲」によるものではないかと指摘されました。ただ、戦国時代末期、鉄砲とキリスト教の伝来という外圧があった時、さらに幕末のペリー来航による外圧があった時は、「才能」が取り上げられて世の中が動いたが、これからの日本は、地方分権、「才能」の抜擢が必要なのではないだろうか、とのことでした。



第二部の記念表彰式では、特別功労者表彰、功労者表彰、感謝状、50周年記念表彰の各受賞代表者が、大西健造連合会会長から表彰状を授与されました。その後、高橋千葉労働局長、軽部千葉年金事務所長、鶴岡協会けんぽ千葉支部長、大西連合会会長の祝辞をいただきました。

第三部の新年賀詞交歓会は、森義隆千葉県会会長の挨拶に続き、森英介・自由民主党社会保険労務士議員懇談会会長、渡辺博道・福島原発事故再生総括担当大臣、野田佳彦・前内閣総理大臣、河上茂・千葉県自由民主党社会保険労務士会推進議員連盟会長、熊谷俊人千葉市長のご祝辞、上吉司郎政治連盟会長の乾杯の発声で開宴となりました。

今年は、余興として支部対抗歌合戦が行われましたが、審査の結果、千葉支部が優勝しました。さらに、富籤の大抽選会が行われ、大変盛り上がりましたが、松永鉄三郎千葉県会副会長による閉会のことば、三本締めで、賑やかな交歓会も終了となりました。

